



茶

一番茶は「味」
二番茶は「色」重視！
降雨による刈り遅れ
に注意！



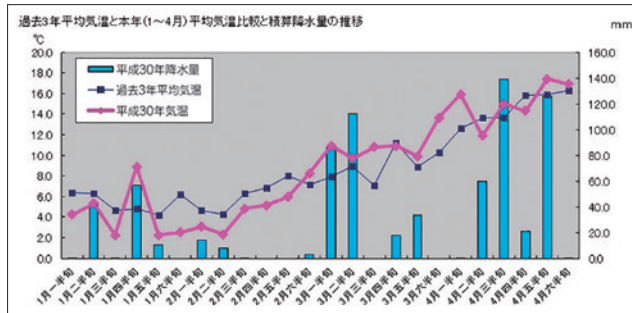
農業経営支援課
山本 尚充

《一番茶を振り返る》

気温は、1月から2月にかけて平年より低く推移し、3月・4月はかなり高めに推移しました。降水量は、1月から2月は少なく、3月・4月は平年を大きく上回りました。冬の寒さにより良質なお茶が安定して生産されましたが、一部では生育速度に追いつかず、刈遅れによる「コワ葉」が見られました。また、品種や地域による生育差が小さいため、短期集中型となりました。

《二番茶の摘採》

一番茶の摘採後、5日前後



で二番茶の摘採が始まります。二番茶の生育は、気温が高いため茶芽の硬化速度も速くなります。天候も考慮してやや前倒しの摘採を心掛けましょう。また、気象庁発表の6月予報では、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予測されています。降雨による刈り遅れ等を回避するため、前倒しの摘採を心掛けましょう。気温の上昇に伴い、摘採袋内での「葉やけ・葉ムシ」を引き起こす可能性があります。摘採袋内の生葉を減らす、速やかに工場へ運ぶ、摘採後は木陰で管理する等注意しま

しょう。この時期は農作業が集中するため、摘採機等の扱いには十分注意し、事故防止に努めてください。また、熱中症に注意し水分はこまめに取りましょう。一番茶は「味」二番茶は「色」重視となります。色沢を落とさないようにしましょう。

《病害虫防除》

今月は、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノホソガ、ヨモギエダシヤク、炭そ病、もち病、輪班病の発生が見られます。特にチャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、炭そ病、もち病は二番茶芽の萌芽・生育期に加害及び感染しますので注意が必要です。梅雨時期のため、雨の合間を見ての散布も必要になりますので、新芽の生育を見て適期防除を心掛けてください。(更新園含む)